

## 職員による自己評価

## A環境面

訓練室内でも区分けの仕方を変更してスペースが広く使えるようになった。

## B児童への支援内容

個別療育の中で評価を繰り返し行ない、都度親御さんにもお伝えしている

## C関係機関との連携

支援学校などは特に情報共有を行っており、児童の様子や支援について共有を行なっている。

ケース会議や地域連絡会などにも参加し、他サービスなどとも情報共有している。

## D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳アプリを使用し、毎日写真でご報告することで、支援内容をわかりやすくお伝えできている

## E非常対応

半年に一回実施し、その様子は親御さんにもお伝えしている。

## 保護者による評価

## A環境面

・部屋の仕切りが変わったので、前よりスペースが広くなったような気がします。

## B児童への支援内容

・やった事ない遊びとかを覚えて家で教えてくれるので、色々工夫して支援していただいていると感じる。

・外出の機会がもっとあると良いと思う。

## C事業所からの情報発信

・相談をするとどうしたらいいかを一緒に考えられるのは本当に助かります。

・アプリ連絡帳の活動写真いつも楽しく見せていただいています。

## D非常対応

・定期的に防災訓練を取り入れて頂いている。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

写真付き連絡帳がわかりやすい

楽しみながら活動できるような支援内容

## 【相違点】

・外出活動がもっとあると良い

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・ 個別訓練の内容と評価、親御さんへの報告
- ・ 面談時などのご家族支援
- ・ 写真付き連絡帳で毎日報告している
- ・ 情報発信（報告書や SNS）

### 事業所の改善点

- ・ 外出行事の増加

### 事業所の改善への取り組み

子供達の障がい特性から外出を多く実施することは難しいが、定期的に実施できるように企画していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

ほとんどマイナス要素のご意見がなかったことで、自分たちの支援に満足いただけていると安心することができた。

今後も安心してご利用いただこうように努めていく。

事業所名 アレッタ児童デイサービス阪東橋

担当者 枝松 真帆